

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年5月8日

【会社名】 クレディ・スイス・エイ・ジー
(Credit Suisse AG)

【代表者の役職氏名】 財務責任者兼スイス銀行規制担当 フラヴィオ・ラルデリ
(Flavio Lardelli, Head Treasury and Swiss Bank Regulatory)
法務/コーポレート/財務/M&A責任者 ウルス・ファンクハウザー
(Urs Fankhauser, Head Legal Corporate/Treasury/M&A)

【本店の所在の場所】 スイス チューリッヒ CH-8001 パラデプラッツ8番地
(Paradeplatz 8, CH-8001 Zurich Switzerland)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 犬 島 伸 能

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 J Pタワー
長島・大野・常松法律事務所

【電話番号】 (03)6889 7000

【事務連絡者氏名】 弁護士 伊 藤 昌 夫
弁護士 松 尾 直 哉
弁護士 鬼 頭 あゆみ
弁護士 川 合 佑 典

【連絡場所】 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 J Pタワー
長島・大野・常松法律事務所

【電話番号】 (03)6889 7000

【縦覧に供する場所】 該当事項なし。

1【提出理由】

本報告書は、クレディ・スイス・エイ・ジーの監査公認会計士等の異動があったため、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の4の規定に基づき提出するものである。

2【報告内容】

(1) 当該異動に係る監査公認会計士等の名称

退任した監査公認会計士等の名称

ケーピーエムジーAG

就任した監査公認会計士等の名称

プライスウォーターハウスクーパースAG(以下「PwC AG」という。)

(2) 当該異動の年月日

2020年4月30日

(3) 退任した監査公認会計士等が監査公認会計士等となった年月日

1997年3月27日

(4) 退任した監査公認会計士等が直近3年間に作成した監査報告書等における意見等に関する事項

該当事項なし

(5) 異動の決定又は異動に至った理由及び経緯

一定の重要な子会社に係る監査人の強制的なローテーションに関するEU指令に照らして、取締役会は、当グループの監査人のローテーションを進めることを2018年12月に決定した。したがって、取締役会は、2020年4月30日開催の年次株主総会において新独立監査人としてPwC AGを選任することを提案した。PwC AGは、取締役会監査委員会に対して、かかる業務を実施するのに必要な独立性を有しており、かつ米国証券取引委員会が設定した独立性の要件を充足していることを証明している。

2018年度下半期に、当グループの監査業務の入札が実施された。入札のすべての重要な側面(招請する監査法人の選定を含む。)、参加する法人との情報共有の性質及び範囲、並びに評価基準及びプロセスは、入札開始時に、監査委員会によって決定され、入札実行の間監査委員会による監督を受けることとされた。

入札に先立ち、プロセスに関与するすべての個人の公平性を確保するため、監査委員会によりレビューが行われた。予防措置として、監査委員会の委員1名は、潜在的な利益相反のため、入札のすべての面に参加することを拒否された。

参加する法人の提案を評価するための体系的なアプローチが採用され、評価される方法についての透明性を提供するために参加する監査法人と入札プロセスの開始時に共有された、堅固で客観的な一連の評価基準が用いられた。

評価の終了時に、監査委員会は、2020年4月の年次株主総会にPwC AGを新法定監査人として提案するよう取締役会に提言し、取締役会はこれを承認した。

(6) 上記(5)の理由及び経緯に対する意見

退任した監査公認会計士等の意見

退任した監査公認会計士等は特段の意見は表明していない。

監査委員会の意見

上記(5)記載のとおり、監査委員会は、2020年4月の年次株主総会にPwC AGを新法定監査人として提案するよう取締役会に提言し、取締役会はこれを承認した。

以上